

道徳科学習指導案

令和2年10月 第5学年 指導者 金井 康朗

1 主題名 たがいに高め合いながら B-(10) 友情・信頼

2 教材名 「ドッジボール対決」 (出典：光村図書)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

児童にとって、友達関係は最も重要な人間関係の一つである。特にこの時期の児童は、友達とよりよい信頼関係を築くことで、切磋琢磨しながら学校生活を送り、お互いに高め合うことができるようになる。そして、友達とよりよい信頼関係を築くためには、まず、お互いに認め合い、その上で協力し、助け合いながら友情を育んでいこうとする心情を育てることが大切である。

(2) 児童の実態について

本学級の児童は、自分の興味や関心のあることに対して積極的に関わろうとする児童が多く、同じ趣味や指向をもった友達同士でコミュニケーションを取る姿が見られる。しかし、仲間が限定的になる傾向があり、時には仲間同士でも不仲になってしまう場面も見られる。また、友情については「仲がよいこと」と一面的に捉えている児童も少なくない。そこで、多面的・多角的に個人や性別にとらわれず、相互の信頼の下、互いに高め合う友情を育もうとする心情を育てていきたい。

(3) 教材について

本教材は、「ぼく」の所属する5年2組と、仲のよい「都」のいる5年1組でドッジボール対決をする話である。お互いのクラスの団結力を高めるために二人で企画をした対決であったが、2組では「1組に勝つために、1組の子とは対決まで話をしない」というルールができてしまう。本教材を通して、友達との関わりの中で育まれる友情は、相手と気が合ったり、話が合ったりすること以上に、お互いが信頼し合い、高め合うことであることを気付かせたい。

4 指導方針

○本時で扱う道徳的価値について、問題意識をもつために

- ・導入では、事前のアンケートを基に、現在の自分の友達関係について考えることで、「友情」とはどのようなことなのかについて問題意識をもたせ、道徳的価値について自分事として考えるきっかけとする。

○教材を通して、道徳的価値の追求を行うために

- ・基本発問において、「ぼく」がドッジボール対決を提案した理由を考えたり、中心発問において、クラスの作戦と都との関係の間で悩む「ぼく」について考えたりすることで、対決の勝敗ばかりではなく、お互いに信頼し合い、高め合う友情が大切さであることに気付かせる。
- ・補助発問において、「友情」について掘り下げて考えることにより、友情とは仲がよいだけでなく、お互いに切磋琢磨し高め合うことが大切であることにも気付かせる。

○本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返るために

- ・これからの生活について、友達とどのような気持ちで過ごすかを考えさせることで、お互いに高め合いながら友情を育んでいこうとする心情に着目させる。
- ・友達と過ごすときの気持ちについて振り返ることで、自分事として、高め合う友情について考えさせる。

○「こころの見広シート」を活用して考えを広げ、自己を見つめるために

- ・導入では、アンケートを基にして今までの考えを確認し、シートに記入させることで、問題意識をもって道徳的価値を理解させる。
- ・展開では、中心発問や後段で、他者の考えを自分の考えの周りに記入して「友情」の考えを比較させ、全体での共有を通して、道徳的価値を理解し、物事を多面的・多角的に考えさせる。
- ・終末では、このシートを活用して考えた道徳的価値について、今後の生活にどうつなげていくかを具体的に考えさせることで、自分事として道徳的価値の理解を深めるようにする。

5 本時の展開

(1) ねらい

クラスの友達との関係と都との友情の間で悩む「ぼく」の姿を通して、友情には信頼関係が必要なことに気づき、相互に協力して高め合いながら友情を育もうとする心情を育てる。

(2) 準備

教師：心の見広（けんこう）シート、登場人物（「ぼく」、都、正志）のイラスト

児童：道徳ノート（道徳ファイル）

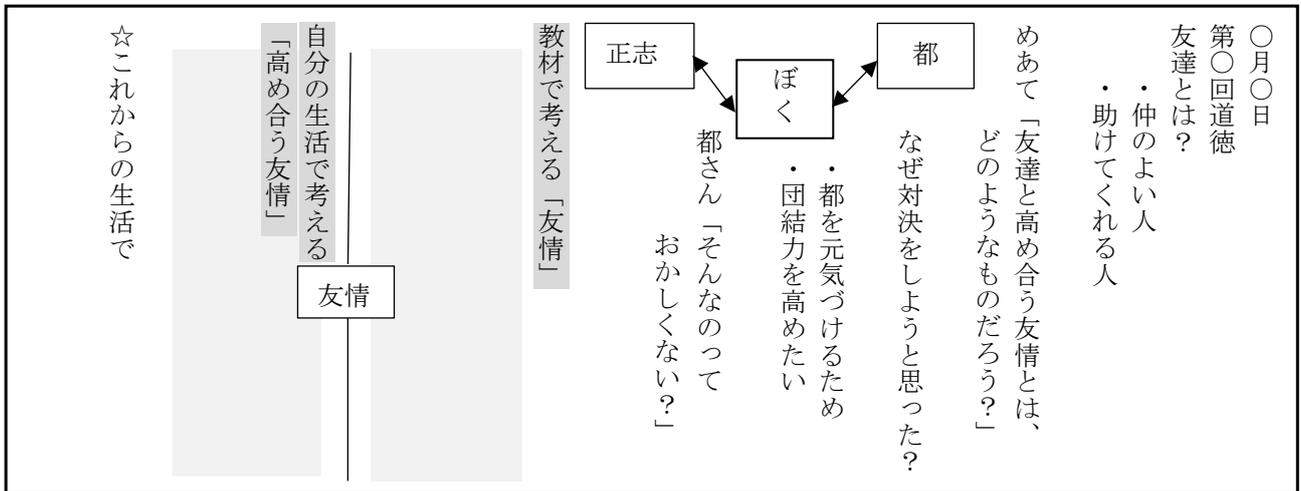
(3) 展開（○発問 ◎中心発問 ◇補助発問）

| 学習活動と発問 | 時間 | 予想される児童の反応 | 指導上の留意点 ◎：見広シートの活用 |
|--|-----------|--|---|
| <p>1 本時で扱う道徳的価値について、問題意識をもつ。</p> <p>○アンケートを見て、「友達」について考えよう。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">[めあて] 友達と高め合う友情とは、 どのようなものだろう？</p> | 5分 | <ul style="list-style-type: none"> ・仲のよい人。 ・助けてくれる人。 ・いつも話をする人。 ・よく遊ぶ人。 | <ul style="list-style-type: none"> ◎見広シートのアンケート（友達について）を活用し、現在の自分の友達関係について確認させる。 ◎「友情」について、導入段階での自分の考えをシート記入させ、問題意識をもたせる。 |
| <p>2 教科書の教材文の範読を聞く。</p> <p>3 教材を通して、道徳的価値について考えをもち、交流する。</p> <p>○「ぼく」は、なぜドッジボール対決をしようと思ったのでしょうか。</p> <p>◎「ぼく」は、都さんに「そんなのっておかしくない？」と言われたとき、どんなことを思ったでしょう。 (個人→グループ→全体) ※グループは3～4人組</p> <p>◇「ぼく」は、正志の考えをどう思っていたでしょう。</p> | 5分 18分 | <ul style="list-style-type: none"> ・都を元気づけようと思ったから。 ・お互いの組の団結力を高めたかったから。 ・都とも仲よくしたい。 ・都もクラスの友達も両方の友情を大切にしたい。 ・友情をこわすような作戦はおかしい。 ・勝つためだけの作戦はおかしい。 ・1組と話さないことは対決とは関係ない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・黒板に登場人物のイラストを貼りながら範読をして、話の内容を押さえる。 ・「ぼく」と都と正志の関係をイラストで図示する。 ・基本発問により、「ぼく」の都への気持ちに気付かせる。 ◎他者の考えを可視化するため、周りに記入させて比較させ、様々な考えがあることに気付かせる。 ・中心発問でグループでの話合いを取り入れ、互いの考えを確認させる。 ・グループで話し合ったことを基に、自分の考えを発表して、全体で共有させる。 ・補助発問により、正志の考えに悩む「ぼく」の気持ちに気付かせる。 ・板書で2分割の右側に多面的な考えや多角的な考えを整理する。 |
| <p>4 道徳的価値に対する多様な意見を知り、学習のめあてについてもう一度考える。</p> <p>○友達と高め合う友情とは、どのようなものだろう。</p> | 7分 | <ul style="list-style-type: none"> ・信じ合うこと。 ・協力できること。 ・よさを認め合えること。 ・相手を思いやること。 ・男女は関係がないこと。 | <ul style="list-style-type: none"> ◎多様な考えを知ることで、「友達と高め合う友情」について、もう一度考えさせる。 ・板書で2分割の左側に整理し、道徳的価値の捉えを一般化させる。 |
| <p>5 本時で扱った道徳的価値に対する思いや考えを振り返る。</p> <p>○これからの生活では、友達と高め合うためにどのような気持ちで過ごしますか。</p> | 10分 | <ul style="list-style-type: none"> ・お互いが助け合えるように、友情を大切にしたい。 ・相手のことを考えて接していき、友情を深めたい。 ・相手のことを信じて、協力し合っていきたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・これからの生活を想定し、友達と高め合う友情について振り返りをさせる。 ◎友達との過ごし方をシートに記入させることで、高め合う友情について自分事として考えさせる。 |

(4) 評価の視点

- 「友達と高め合う友情」について全体で意見交流を行うことを通して、よりよい友達との信頼関係を築くために必要なことについて、多面的・多角的な見方へと発展しているか。
- 振り返りの場面でこれからの友達との関わりについて考えることを通して、友達と高め合うために必要な信頼関係をよりよく築くことについて、自分自身との関わりの中で深めているか。

(5) 板書計画



(6) 「こころの見広シート」

考えが見える・広がる・自己を見つめる 「こころの見広シート」

年 組 名 前

「友達」とは
「友情」とは
めあて「 _____ 」

グループ①
グループ②
グループ③
グループ④

「ぼく」はどう思った？

全体①
全体②

もう一度考えよう

「友達と高め合う友情とは？」 _____

「つなげよう」
○友達と高め合うため、どのように過ごす？

【こころの見広シートの具体的な活用】

事前

- ①アンケートから、今までの友達について確認する。

導入

- ①友情について、導入段階の自分の考えを記入する。
- ②めあてを確認する。

展開（中心発問）

教材で考える友情

- ③中心発問に対して、グループで話し合ったことを記入する。
- ④中心発問に対して、全体で共有したことを補足して記入する。

展開（後段）

自分の生活で考える高め合える友情

- ⑤多様な考えを知り、友達と高め合う友情について、自分の考えを記入する。

終末

- ⑥これからの生活にどのようにつながっていくか、自分事として高め合う友情について記入する。